

黒田 公二議員

松本市長の選挙公約
(マニフェスト)について伺う

問 4月から障がい者雇用コーディネーターを設置するが、設置する目的は。
答 障がい者の就労支援策の強化を目的に平成22年度から配置する。就労希望者の状況把握、各事業所への橋渡し、職業訓練、施設等への入所相談などを行っていただく。

問 障がい者雇用コーディネーターの役割は。
答 企業と障がい者を取り持つ世話人。具体的には、企業への雇用依頼や手続きなどの支援、障がい者への相談対応と適性把握、障がい者雇用の啓発、雇用セミナー開催など。

問 元気高齢者表彰制度に加えて、例えば「お元気ポイント」のような介護保険料や、サービス利用料の負担を軽減するポイントシステムを導入する考えはないか。
答 今後、元気高齢者表彰制度を検討



討する中で、当該ポイントシステムを導入している近隣自治体の調査も含め、勉強したい。

問 市長の防災に対する基本的な考えを伺う。
答 防災対策の基本は、自助、共助、公助の3つであるといわれている。これらがうまく連携するための地域防災組織があれば、災害に強い地域づくりができると考える。

問 自主防災組織づくりの推進等による、地域防災力の強化に向けた取り組みについて、どのように考えるか。
答 モデル地区を定め、出前講座や防災士を迎えての研修等を行い、自発的な防災活動への参加を促し、自主防災の新たな組織づくりと既存組織の活動の推進を図りたい。

問 災害時における要援護者に対する支援対策を、糸島市ではどのように行っていくか。
答 糸島市災害時要援護者支援計画を早急に策定し、具体的な取り組みについては、旧前原市で行った取り組み方法を旧二丈町・志摩町でも継続して実施していきたい。

問 校区まちづくり等の地域分権を、今後どのように進めていくか。
答 市民が主体となり、校区の課題を把握し、将来像や夢を描き、みんなで事業に取り組んでいただく。愛郷者（郷土を愛する者）を増やして糸島市全体の発展につなげる。

三嶋 栄幸議員

新市基本計画について

問 「新市基本計画」「市長マニフェスト」および「新市の総合計画」との関係性をどう位置付けているのか。
答 今後10年間のまちづくりの方向を示す「新市の総合計画」には、市民のみなさんとの約束である「新市基本計画」「市長マニフェスト」を確実に盛り込み、実施に移していきたいと考えている。

問 「新市の総合計画」に入る前に、アンケートを取るなど意見を聞く必要があると思う。12月議会に提案するととなると、時間的に厳しいのではないか。
答 合併協議会において、新市の進むべき方向を示した「新市基本計画」が策定されており、この計画が住民のみなさんのまちづくりに対する意思という認識のもと、大変厳しいスケジュールだが、12月議会への計画案上程を予定している。

市長マニフェストについて

問 マニフェストに掲げている「糸島市まちづくり基本条例」とは、どのようなものなのか。
答 10万人規模の糸島市が誕生したことを機会に新しいまちづくりの



ルール「糸島市まちづくり基本条例」が必要であると思っている。この条例は、市の憲法といえるもので、市の最上位の条例にしたいと考える。

問 「市民税の1%相当額を使う」と各校区のまちづくりを応援します」と明記されているが、この予算の活用方法を伺う。
答 予算は、校区の課題解決に必要な事業に活用してもらう。例えば、校区民相互の連帯意識の醸成のためのイベント開催、安全・安心の地域づくりのための要援護者の見回り活動、環境美化保全のための花や木の植栽などが考えられる。

問 「市民提案型まちづくり助成制度」および「まちづくりボランティア登録制度」とは、どのようなものなのか。
答 市民提案型まちづくり助成制度とは、団体やNPO法人にまちづくりの事業を提案、実施してもらうもの。まちづくりボランティア登録制度とは、分散するボランティア情報を一元化し、ボランティア人口を増やす取り組みである。

檜和田 正子議員

路線バスの充実について

問 支所間を結ぶコミュニティバス庁舎線の利用状況は。
答 1便当たり3人の利用目標を設定している。1月は1・99人。2月は2・39人で0・4ポイント上昇した。

問 支所間を結ぶだけでは、コミュニティバスとして不十分ではないか。二丈の隅々まで走らせることを検討できないか。
答 路線バスの充実には、一部の地域に限らず糸島市全体の視点が必要。22年度中に「糸島市地域交通計画」を策定するため、この中で検討する。



二丈庁舎前バス停を出発するコミュニティバス

白糸地獄地区林地開発問題について

問 林道使用許可申請に対して不許可

可の判断をしたが、この判断のバックアップをもらうために、市民に詳しく説明するべきではないか。

答 市議会や、報道機関への説明を通して、市民のみなさまへ不許可に至った経過や理由を伝えている。今後、広報いとしま等を通じて市民の方々へ説明を行う。

問 福岡県の林地開発に関する最終判断はどうなっているのか。
答 3月県議会で県知事が「林地開発の許可は困難である」と答弁されているが、糸島市への正式な回答はまだ来ていない。

糸島市図書館の充実について

問 二丈庁舎の図書館計画についての進捗状況を伺う。
答 支所機能、分庁機能を有している期間の図書館サービス、庁舎活用については、6月議会において、ある程度の内容をお話しできるものと思っている。

問 二丈、志摩に図書館をつくるということで、二丈庁舎、志摩庁舎に置く図書館は、暫定的なものと理解しているのか。
答 まだ、図書館基本構想を作成していないので、それまでの期間については、暫定的な図書館を考えている。

小島 忠義議員

市長のマニフェストに関して、その実現方法を問う

問 行財政改革をどのように進めたいと考えているか。
答 具体的な施策、数値目標については、平成22年度中に策定する「行財政改革大綱」と「行財政健全化計画」の中で明らかにさせていただく。

問 4年間で50億円の歳出削減方法はいかに。
答 引き続き人員の削減、投資的事業の重点化、民間委託の推進などをより徹底させて歳出削減の努力を続ける。新規削減策等は今後検討する。

問 外部評価導入の導入時期と、評価委員の構成はどのように考えるか。
答 透明性のある客観的な評価を行うために外部評価の効果と課題を十分に精査し、平成22年度中に運用方法を検討して、任期中に導入したい。

問 糸島市誕生を記念したイベントや、自治体のマスコットとなる「ゆるキャラ」を公募する考えはないか。
答 地域振興のために使用する「ゆるキャラ」の設置については、糸島市を象徴する花や木などの選定に合わせて、今後検討させていただく。

問 糸島の強みである第1次産業や、良好な自然環境を生かすための具体的な方策はあるか。

答 グルメ観光のほか、農・水産物を生かした特産品等のいわゆる第6次産業の振興に努めていきたい。



雷山から見た糸島半島。豊かな自然に恵まれて...

問 赤米を使った田んぼアートの会場で「コンサートやさまざまな体験コーナー、農・水産物の直売等を行うイベントを開催してはどうか。
答 財源、開催場所および駐車場などの課題解決が必要である。今後、この事業に今までかわつてこられた二丈赤米生産組合等と協議を進めていきたいと考えている。

問 糸島にある2級河川の整備について、県に要望していただきたいが、どのように考えるか。
答 糸島管内の2級河川は16河川あり、21年度に8河川の浚渫工事を実施していただいた。今後、土砂の堆積が著しい河川については、県に要請を行っていき